RasterLink8

プロファイルマネージャー
リファレンスガイド

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/
D204030-10

目次

はじめに 3
ご注意 3
この説明書について 3
プロファイルマネージャーとは 4

第 1 章 基本動作

1.1 プロファイルマネージャーの起動 6
スタートメニューからの起動 6
RasterLink8からの起動 6
1.2 画面の説明 7
[デバイスプロファイル]タブ 7
[入力プロファイル]タブ 9
1.3 プロファイルのインストール/アンインストール 10
フォルダーからのインストール 10
インターネットからのダウンロード（デバイスプロファイル） 11
プロファイルのアンインストール 13

第 2 章 高度な使用方法

2.1 最適なデバイスプロファイルを見つけて使用する 16
最適なデバイスプロファイルを見つける 16
見つけたデバイスプロファイルを調整して使用する 16
2.2 テストプリントで見つける 17
2.3 印刷したカラーチャートを元に見つける 20
機能の起動 21
測色と目視を使った方法 22
目視のみの方法 24
2.4 色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する 27
2.5 プロファイルのエクスポート 32

はじめに

本書では、Mimaki RasterLink8(以降RasterLink8) のカラープロファイル管理ツール「プロファイルマネージャー」の使用方法について説明します。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Apple、Macintosh、macOSは、Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows 8.1、Windows 10、Windows 11は、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この説明書について

本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[OK]、[ファイルを開く]のように[ ]で囲っています。

マークについて

内容		
重 要!	重要	「重要」マークは、本ツールをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式サイト（https://japan.mimaki.com/download/software.html）

プロファイルマネージャーとは

プロファイルマネージャーは、RasterLink8 のカラーを管理するファイルである「デバイスプロファイル」と「入力プロファイル」を管理するツールです。以下の機能を提供します。

機能	概要	詳細
プロファイルのインストール	プロファイルをフォルダーから、またはインターネットからインストールします。	☞ P. 10
プロファイルのアンインストール	プロファイルをRasterLink8システムから削除します。	☞ P. 13
最適なデバイスプロファイルを見つける	テストプリントで最適なデバイスプロファイルを見つけます。	☞ P. 17
	印刷したカラーチャートを元に最適なデバイスプロファイルを見つけます。	☞ P. 20
	色みを微調整して専用デバイスプロファイルを作成します。	☞ P. 27

重要！ RasterLink8では以下が1 つ以上インストールされている必要があります。
- 登録するプリンターのデバイスプロファイル
- RGB カラーモードの入力プロファイル
- CMYK カラーモードの入力プロファイル

用語について

用語	説明
プロファイル	本書では「プロファイル」単体で記載された場合、デバイスプロファイル・入力プロファイル・ユーザーデバイスプロファイルの総称となります。
デバイスプロファイル	RasterLink シリーズで用いられる、プリンター・インク・メディアごとのカラー情報を保持するファイルです。ICC プロファイルに、ミマキ独自情報が追加されています。
入力プロファイル	RIP の入力側(ここでは画像)の色域を規定するICC プロファイルです。
測色値ファイル	チャート画像を測色した結果を記載したファイルです。
ユーザーデバイスプロファイル	プロファイルマネージャーを使って作られるファイルです。デバイスプロファイルをベースに、カラー調整を行ったり新たなメディア名を付けたりして作成します。拡張子：*.usrprf
MimakiProfileMaster3（MPM3）	弊社製カラーマネージメントソフトウェア(別売)です。デバイスプロファイルの作成、キャリブレーションの実施、エミュレーションプロファイルの作成が行えます。

第 1 章　基本動作

この章では...

プロファイルマネージャーのメイン画面の説明と、基本的な機能であるプロファイルのインストール・アンインストールについて説明します。

プロファイルマネージャーの起動.....6
スタートメニューからの起動 6
RasterLink8からの起動 6
画面の説明.....7
[デバイスプロファイル]タブ 7
[入力プロファイル]タブ 9
プロファイルのインストール/アンインストール
.....10
フォルダーからのインストール.....10
インターネットからのダウンロード（デバイスプロファイル） 11
プロファイルのアンインストール 13

1.1 プロファイルマネージャーの起動

プロファイルマネージャーは以下より起動できます。

スタートメニューからの起動

スタートメニューから[RasterLink8] - [プロファイルマネージャー]をクリックします。

- プロファイルマネージャーが起動します。

RasterLink8からの起動

RasterLink8からは以下の2か所より起動できます。

● メニューから起動する

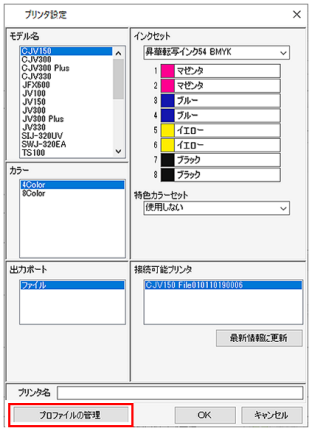
メニューから[ツール] - [プロファイルマネージャー]を選択します。

- プロファイルマネージャーが起動します。

● [プロファイルの管理]から起動する

[プリンタ設定]画面（[環境設定] - [プリンター管理]から起動）で[プロファイルの管理]をクリックします。

- プロファイルマネージャーが起動します。



重 要！

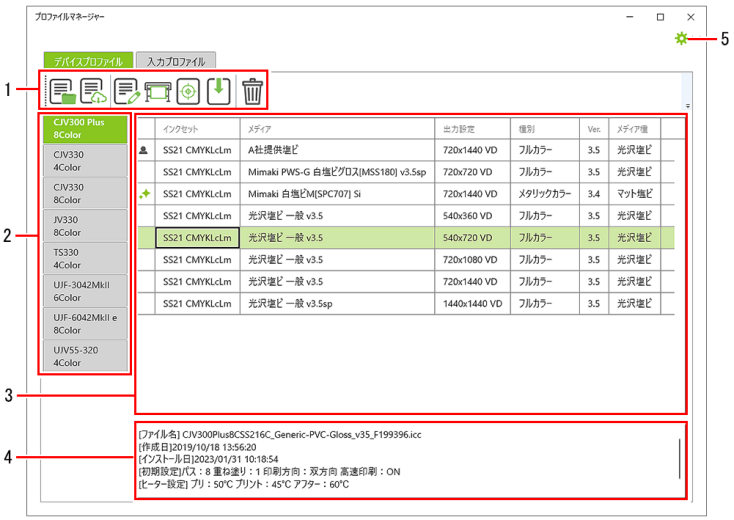
- RasterLink8とプロファイルマネージャーは同時起動が可能です。同時起動中に、プロファイルマネージャーでプロファイルをインストール/アンインストールすると、RasterLink8にも反映されます。

1.2 画面の説明

[デバイスプロファイル]タブと[入力プロファイル]タブを切り替えて表示します。

[デバイスプロファイル]タブ

- RasterLink8インストール直後はデバイスプロファイルがインストールされていないため、[デバイスプロファイル]タブ内は空白で表示されます。
  デバイスプロファイルをインストールしてください。☞「プロファイルのインストール/アンインストール」（P. 10）



1. ツールバー

各種機能を実行します。

アイコン	機能	説明	詳細
	フォルダーからインストール	指定したフォルダー内のデバイスプロファイルをインストールします。	☞ P. 10
	ダウンロード	インターネットからデバイスプロファイルをダウンロード後、インストールします。	☞ P. 11
	ユーザーデバイスプロファイルの作成	既存のデバイスプロファイルを元に、カラー調整などをカスタマイズしたファイルを作成します。	☞ P. 27
	テストプリント	1つの画像に対して、一度に複数のデバイスプロファイルが確認できるように印刷します。	☞ P. 17
	最適なプロファイルのダウンロード	手持ちのメディアに最適なデバイスプロファイルを測色または目視を用いて選び、ダウンロードします。	☞ P. 20
	エクスポート	インストールされているデバイスプロファイルを外部に保存します。	☞ P. 32
	アンインストール	RasterLinkシステムからデバイスプロファイルを削除します。	☞ P. 13

2. 機種タブ

インストールされたデバイスプロファイルを機種ごとに表示します。

3. デバイスプロファイルリスト

インストールされているデバイスプロファイルの一覧です。
各デバイスプロファイルの先頭にデバイスプロファイルの種類を示すアイコンが表示されることがあります。

● アイコンの意味

アイコン	説明
	MPM3で作成したキャリブレーション情報が入ったプロファイルです。
	メタリックカラープロファイル：シルバーインク用のプロファイルです。
	エミュレーションプロファイル：MPM3のエミュレーション機能を用いて、他のプリンターと色合わせを行ったプロファイルです。
	ユーザーデバイスプロファイル☞ P. 27：本ツールで作成したユーザーデバイスプロファイルです。

4. 詳細情報欄

デバイスプロファイルリストで選択されているプロファイルの詳細情報を表示します。

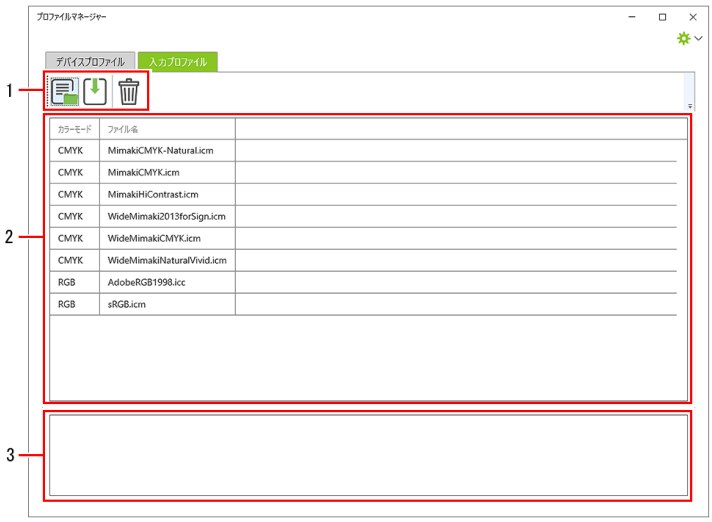
5. 設定メニュー

(設定)をクリックして、各種設定を行います。

機能	説明
インターネット設定	インターネットに接続する際の設定を行います。
表示	本ツールの表示言語を切り替えます。
バージョン	バージョンを表示します。

- インターネット設定はRasterLink8および関連アプリケーションで共通のため、他のツールで設定した場合はプロファイルマネージャーでの設定は必要ありません。

[入力プロファイル]タブ



1. ツールバー

各種機能を実行します。

アイコン	機能	説明	詳細
	フォルダーからインストール	指定したフォルダー内の入力プロファイルをインストールします。	☞ P. 10
	エクスポート	インストールされている入力プロファイルを外部に保存します。	☞ P. 32
	アンインストール	RasterLinkシステムから入力プロファイルを削除します。	☞ P. 13

2. 入力プロファイルリスト

インストールされた入力プロファイルを機種ごとに表示します。

3. 詳細情報欄

入力プロファイルリストで選択されている入力プロファイルの詳細情報を表示します。

1.3 プロファイルのインストール/アンインストール

フォルダーからのインストール

プロファイルがあるフォルダーを指定してファイルをインストールします。

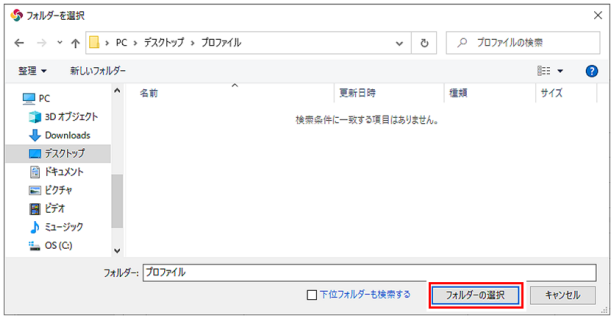
- デバイスプロファイルと入力プロファイル共通の手順です。
- 弊社公式ウェブサイト(https://japan.mimaki.com/)からダウンロードしたプロファイルはこの方法でインストールしてください。

1 **インストールしたいプロファイルのタブを選択し、ツールバーの(フォルダーからインストール)をクリックします。**

- フォルダー選択画面が表示されます。

2 **プロファイルがあるフォルダーを選択し、[フォルダーの選択]をクリックします。**

- 選択されたフォルダー内のプロファイルの一覧が表示されます。



- [下位フォルダーも検索する]をオンにすると、指定したフォルダーより下位にあるフォルダー内のプロファイルも検索されます。

3 **インストールしたいプロファイルを選択し、チェックボックスをオンにします。**

- すべてのプロファイルをインストールしたい場合、見出しのチェックボックスをオンにします。
- プロファイルを選択すると画面下にそのプロファイルの詳細情報が表示されます。

各プロファイルの先頭に以下のアイコンが表示されることがあります。

- ！：このアイコンが表示されたときは、すでに同じ条件のプロファイルがインストールされています。このプロファイルをインストールする場合は自動的に元のプロファイルに上書きされます。

4 **[OK]をクリックします。**

- プロファイルがインストールされます。
- インストールが正常に終了すると、画面に反映されます。

インターネットからのダウンロード（デバイスプロファイル）

目的のデバイスプロファイルを検索し、ダウンロードとインストールを一度に行うことができます。

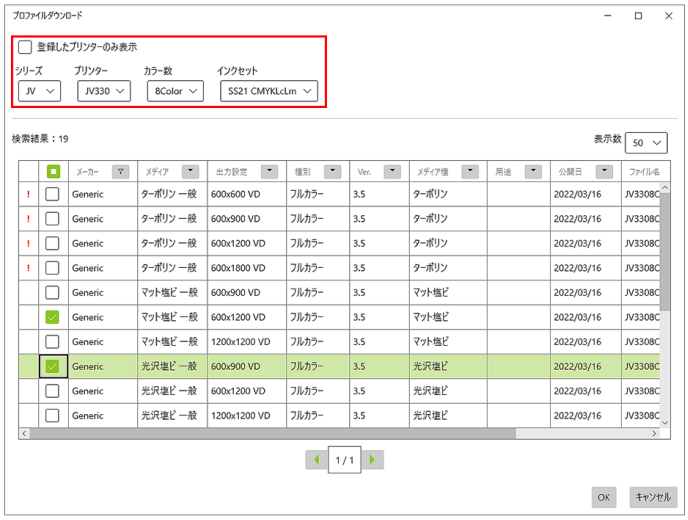
重要！ 本機能を使用するには以下が必要です。
- RasterLink8をライセンス認証している。
- インターネットへ接続している。

1 **ツールバーの(ダウンロード)をクリックします**

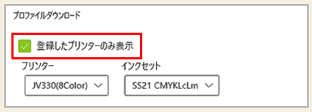
- [プロファイルダウンロード]画面が表示されます。

2 **インストールしたいデバイスプロファイルの機種とインクセットを指定します。**

- インクセットを選択した時点で、その条件のデバイスプロファイルを検索し、結果が表示されます。

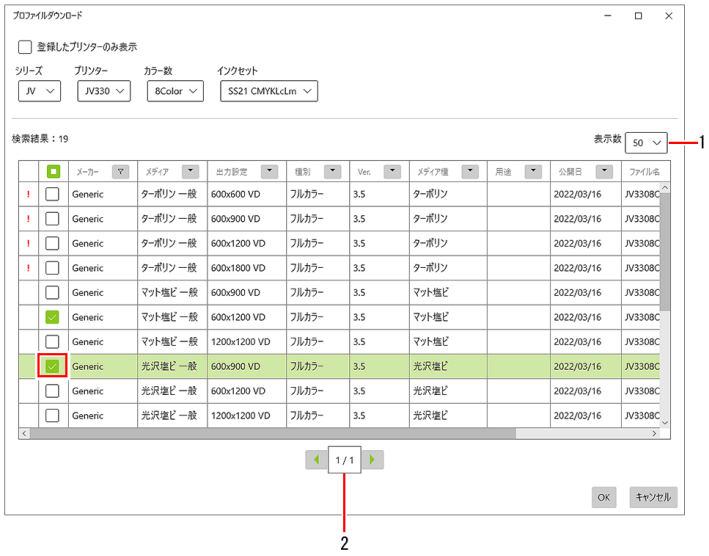


- [登録したプリンターのみ表示]をオンにするとRasterLink8に登録されているプリンターのみ選択できるようになります。



3 インストールしたいデバイスプロファイルを選択し、チェックボックスをオンにします。

- すべてのデバイスプロファイルをインストールしたい場合、見出しのチェックボックスをオンにします。



1	1画面での表示数	2	ページ切り替え

- 各見出しのボタンをクリックすると、フィルター画面が表示されます。
  表示したい項目のみチェックボックスをオンにすることで、その項目のみ表示することができます。

- 各デバイスプロファイルの先頭に以下のアイコンが表示されることがあります。
- ！：このアイコンが表示されたときは、すでに同じ条件のデバイスプロファイルがインストールされています。このデバイスプロファイルをインストールする場合は自動的に元のデバイスプロファイルに上書きされます。

4 [OK]をクリックします。

- デバイスプロファイルがインストールされます。
- インストールが正常に終了すると、画面に反映されます。

プロファイルのアンインストール

プロファイルをアンインストールします。

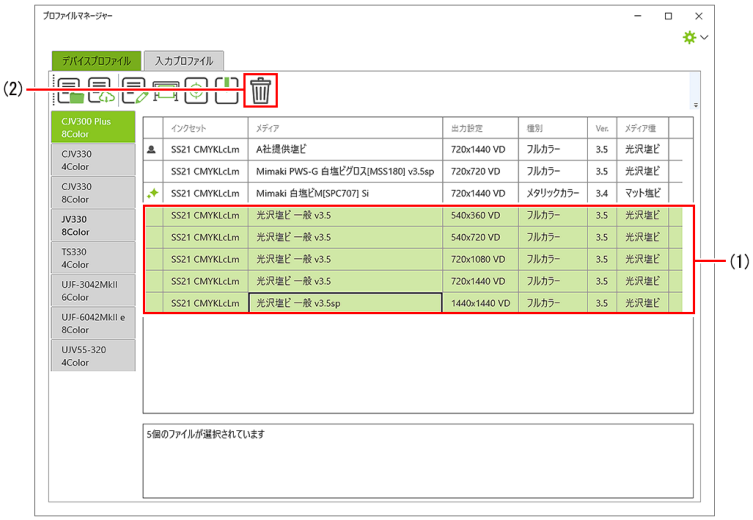
- デバイスプロファイルと入力プロファイル共通の手順です。

1 以下の手順でアンインストールしたいプロファイルを選択します。

(1) メイン画面でアンインストールしたいプロファイルを選択します。

(2) ツールバーの (アンインストール)をクリックします。

- 削除確認のメッセージが表示されます。



2 [はい]をクリックします。

- プロファイルがアンインストールされます。
- ジョブおよびお気に入りに設定されているプロファイルが含まれる場合、アンインストールできないプロファイルの一覧が表示されます。

重要! アンインストールできないプロファイルをアンインストールするには以下のようにします。

(1) プロファイルを選択すると、設定されているジョブおよびお気に入りが表示されます。

(2) ジョブおよびお気に入りを削除するか、これらからプロファイルを外します。

(3) 再度アンインストールを実行します。

第 2 章　高度な使用方法

この章では...

最適なデバイスプロファイルの見つけ方と、プロファイルのエクスポートについて説明します。

最適なデバイスプロファイルを見つけて使用する.....16
最適なデバイスプロファイルを見つける .. 16
見つけたデバイスプロファイルを調整して使用する 16
テストプリントで見つける 17
印刷したカラーチャートを元に見つける.....20
機能の起動 21
測色と目視を使った方法 22
目視のみの方法.....24
色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する 27
プロファイルのエクスポート.....32

2.1 最適なデバイスプロファイルを見つけて使用する

プロファイルマネージャーでは、お手持ちのメディア専用のデバイスプロファイルが提供されていなくても、最適なデバイスプロファイルを見つけてお使いいただけます。

最適なデバイスプロファイルを見つける

お手持ちのメディア専用のデバイスプロファイルが提供されていない場合、以下の機能を用いてそのメディアに適してデバイスプロファイルを見つけ出すことができます。

● テストプリントで見つける

1つの画像に対して、一度に複数のデバイスプロファイルが確認できるように印刷し、目視で確認して最適なデバイスプロファイルを見つけることができます。☞「テストプリントで見つける」（P. 17）

● 印刷したカラーチャートを元に見つける

専用チャートを印刷し、測色もしくは目視で弊社の基準にあったデバイスプロファイルを見つけることができます。☞「印刷したカラーチャートを元に見つける」（P. 20）

見つけたデバイスプロファイルを調整して使用する

● 色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する

選択したデバイスプロファイルをベースに、色みを微調整し、新たなメディア名を付けたファイル（ユーザーデバイスプロファイル）を作成できます。☞「色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する」（P. 27）

重要！ RasterLink8の設定について

これらの機能ではRasterLink8を用いて画像の印刷を行います。
対象となるRasterLink8に登録されたデバイスに対して、事前に以下の設定を行ってください。

(1) ホットフォルダーを作成する
- プロファイルマネージャーからデバイス名と同名のホットフォルダーを通してジョブを作成します。必ずホットフォルダーを作成してください。

(2) お気に入りの設定を行う
- プロファイルマネージャーからは以下の設定が可能です。その他の設定についてはデバイス名と同名のお気に入りの設定を用います。
- [プロファイルマネージャーで設定できる値]
(出力設定)パス/印刷方向/高速印刷の有無、(レイアウト)回転、ミラー、ラベル印刷のフォントサイズ

2.2 テストプリントで見つける

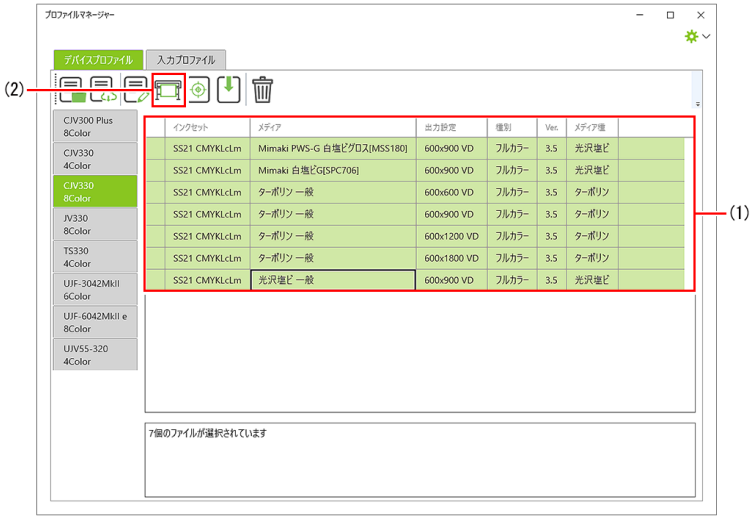
1つの画像に対して、一度に複数のデバイスプロファイルが確認できるように印刷します。
印刺された画像を目視で確認して、最適なデバイスプロファイルを見つけることができます。

重 要！ 本機能を使用するには以下が必要です。
- 対象の機種がRasterLink8に登録されており、デバイス名と同名のホットフォルダーが登録されている。

1 以下の手順でテストプリントを行いたいデバイスプロファイルを選択します。

(1) テストプリントを行いたいデバイスプロファイルを選択します。

(2) (テストプリント)をクリックします。
- [テストプリント]画面が表示されます。



2 以下の手順で出力先のデバイスを選択します。

(1) 出力先のデバイスを選択します。

(2) [テストプリント]をクリックします。

重要！
- [テストプリント]をクリックする前に、必ずRasterLink8を起動してください。

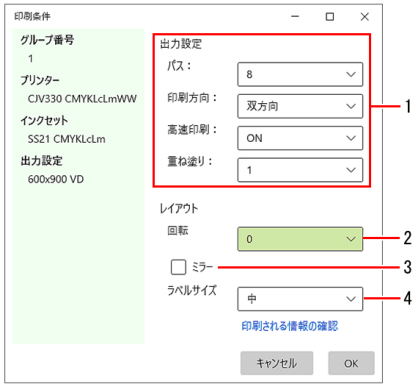
- デバイスプロファイルは面付けできる条件ごとにグループ化され番号が振られます。RasterLink8にジョブを作成した際、このグループごとに面付けされたジョブが作成されます。
- 選択したデバイスのインクセットと異なるデバイスプロファイルが選択されている場合、これらを使って印刷できません。該当のデバイスプロファイルには[X]アイコンが表示されます。

3 印刷したい画像を1つ選択します。

- 選択できる画像フォーマットはRasterLink8と同じです。
- [印刷条件]画面が、グループごとに表示されます。

4 印刷条件を設定して[OK]をクリックします。

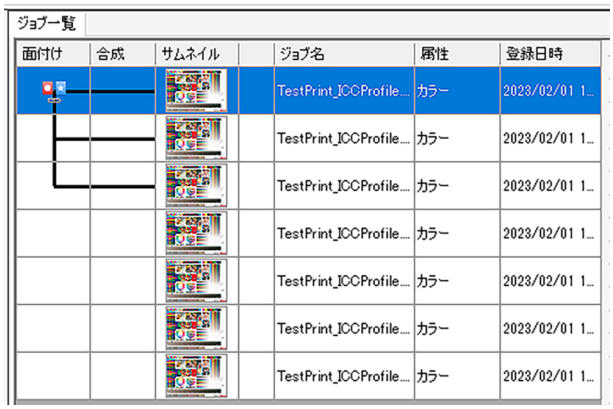
- RasterLink8にジョブが作成されます。



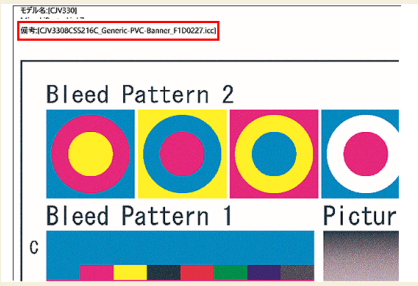
1	出力設定	2	画像の回転
3	ミラー	4	ラベルプリントのサイズ

5 レイアウト、カラーマッチング、ヒーター温度設定などを確認してから、印刷を実行します。

- ジョブはグループごとに面付けされます。



- テストプリントを行うと必ずラベルが印刷されます。ラベルの[備考]欄にその画像を印刷する際に使用したデバイスプロファイルのファイル名が記載されます。



2.3 印刷したカラーチャートを元に見つける

重要! 本機能を使用するには以下が必要です。
- RasterLink8をライセンス認証している。
- インターネットへ接続している。
- 対象の機種がRasterLink8に登録されており、デバイス名と同名のホットフォルダーが登録されている。

チャートを印刷し、測色もしくは目視で最適なデバイスプロファイルを選び出し、ダウンロードします。
機種やインクタイプにより以下の2つの方法を提供します。

● 測色と目視を使った方法

測色と目視用の2つのチャートを印刷し、測色結果と目視により求めたインク濃度を元に、独自のアルゴリズムによって列挙された候補の中から、デバイスプロファイルを選択します。

- 対象機種

機種	インクタイプ
JV100	SS21、AS5、BS4
JV330	SS21、BS4
CJV330	SS21、BS4

重要! 本方法では測色器が必要です。
- 測色器の設定はRasterLink8本体で行います。
- 使用できる測色器はRasterLink8本体と同じです。
- RasterLink8のメニューより[環境設定] - [オプション] - [測色器]を開き使用する測色器を設定してください。

● 目視のみの方法

候補となるデバイスプロファイルを数種類ダウンロードしてテストプリントを行い、その中から目視で選択します。

- 対象機種

機種	インクタイプ
TS100	Sb610
TS330	Sb411

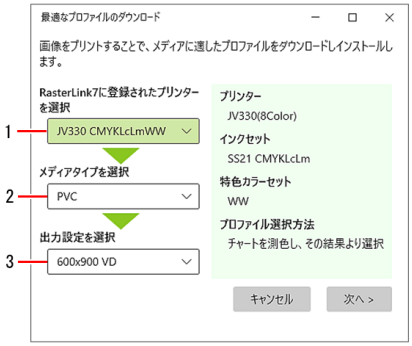
機能の起動

1 ツールバーの (最適なプロファイルのダウンロード)をクリックします。

- [最適なプロファイルのダウンロード]画面が表示されます。

2 以下を設定して、[次へ]をクリックします。

- [チャートのプリント/測色]画面が表示されます。



1	出力先	RasterLink8に登録されているデバイスを選択します。 選択したデバイスにより以下のようになります。 • 本機能対応機種：機種により方法が自動的に決定され、右の情報欄に表示されます。 • 本機能未対応機種：未対応のメッセージが表示され、本機能を使用できません。
2	メディアタイプ	メディアタイプ毎に使用できる解像度等出力設定が異なります。使用するメディアの材質に近いものを選択してください。
3	出力設定	使用したい解像度を選択します。

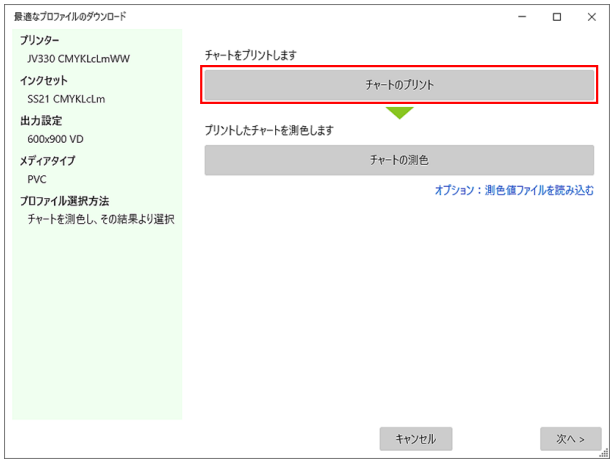
3 手順に従って、最適なプロファイルを選択します。

☞ 「測色と目視を使った方法」（P. 22）
☞ 「目視のみの方法」（P. 24）

測色と目視を使った方法

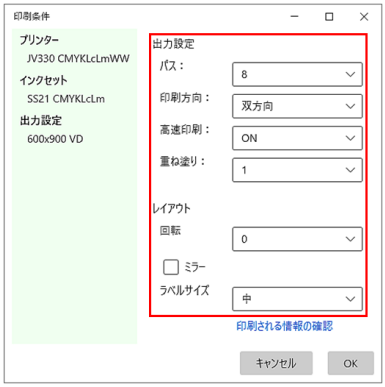
1 [チャートのプリント]をクリックします。

- [印刷条件]画面が表示されます。



2 印刷条件を設定して、[OK]をクリックします。

- RasterLink8に2つのジョブが作成されます。

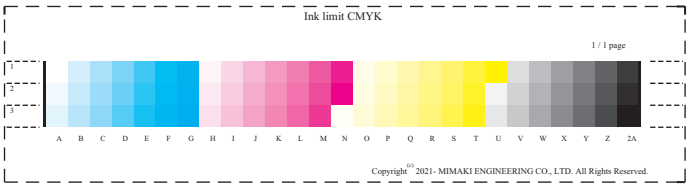


3 レイアウトを確認し、印刷します。

- ジョブは印刷後に手動で削除してください。
- ジョブ作成と同時に本機能用のデバイスプロファイルがインストールされます。ジョブを削除後にこのデバイスプロファイルも削除してください。

4 測色用チャート画像を測色します。

(1) 印刷された測色用チャートを用意します。



(2) PCに測色器を接続し、[チャートの測色]をクリックします。

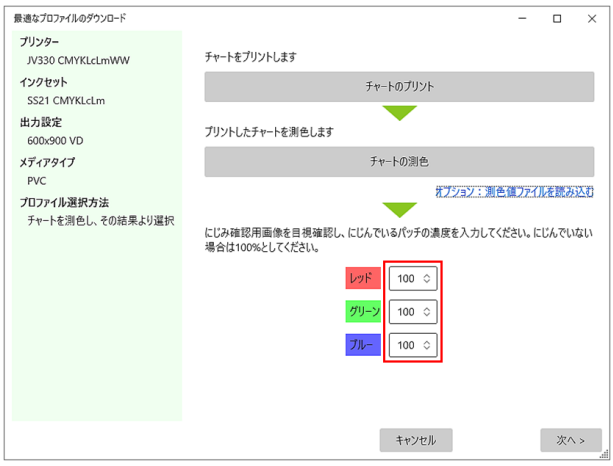
- 測色機能が起動します。画面に従って、測色を行ってください。
- 詳細については別冊[RasterLink8キャリブレーションツール取扱説明書]の[チャートのプリントと測色の手順]をお読みください。

すでに測色値ファイルをお持ちの場合

- [オプション：測色値ファイルを読み込む]をクリックするとファイル選択画面が表示されますので、測色値ファイルを選択してください。

5 にじみ確認用画像を目視確認し、にじんでいる濃度を以下の画面に入力して、[次へ]をクリックします。

- 入力された情報より、候補となるプロファイルが列挙されます。

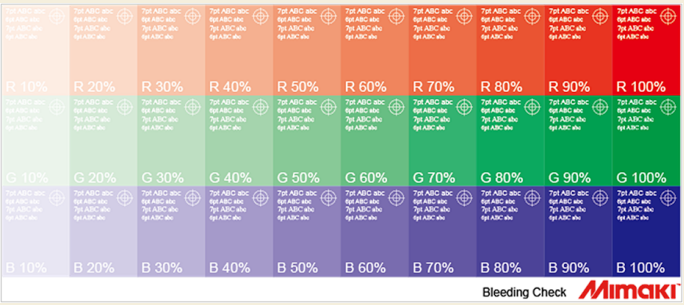


- [次へ]をクリックする前に、RasterLink8を起動し、最新のステータスを取得した状態としてください。

にじみ確認用画像の見方

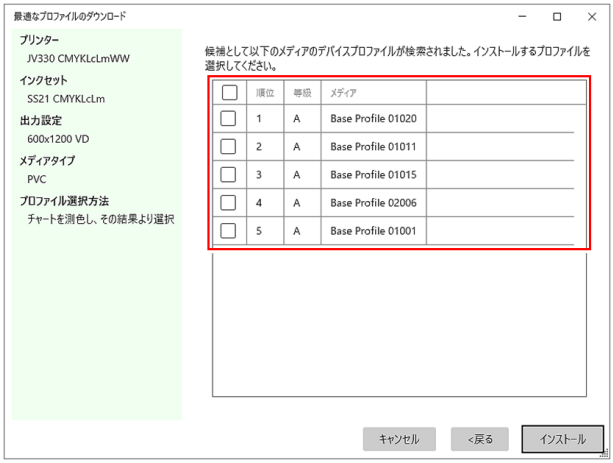
印刷されたにじみ確認用画像を目視し、以下のような現象が発生していない最高濃度値のパッチの値を入力します。

- 文字や細線がつぶれて読めない。
- インクだまりやクラックが発生している。



6 インストールするデバイスプロファイルのチェックボックスをオン にし、[インストール]をクリックします。

- 選択されたデバイスプロファイルがインストールされます。



- 計算により算出された結果を元に、そのメディアに最適なデバイスプロファイルをランキングをつけて表示します。
- ダウンロードできるデバイスプロファイルは、本機能専用のものとなります。

7 テストプリントを行い、ダウンロードしたデバイスプロファイルの色みを確認します。

- 必要に応じて色みを調整してください。
- メディア名を新たにつけたい場合は☞「色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する」（P. 27）を実行して、よりメディアに適した設定に変更してください。

目視のみの方法

対象となるデバイスプロファイルが自動的にダウンロードおよびインストールされ、リストに表示されます。

ダウンロードしたデバイスプロファイルで画像を印刷し、目視でメディアに合ったデバイスプロファイルを選択します。

1 [確認画像のプリント]をクリックします。

- ファイル選択画面が表示されます。

- [確認画像のプリント]をクリックする前にRasterLink8を起動してください。

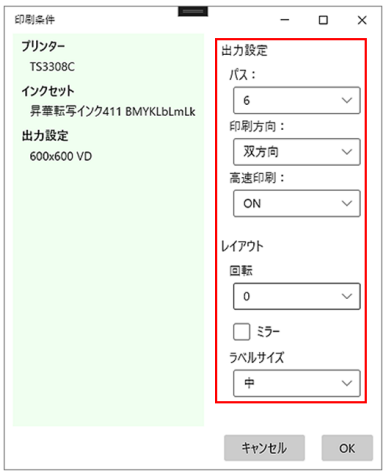
2 画像を選択します。

- 印刷条件画面が表示されます。

昇華転写向けの確認画像として以下の画像が用意されています。
- RasterLink8インストールフォルダー
  \Bin\AppProfileManager\Image\ImageQualityChecker.pdf
  特ににじみの確認を行うのに便利なチャートです。

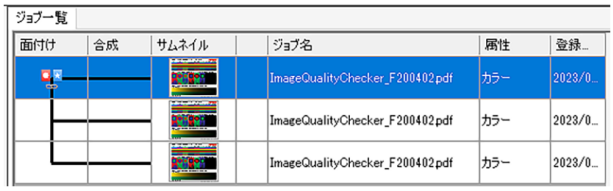
3 印刷条件を設定して、[OK]をクリックします。

- RasterLink8にジョブがデバイスプロファイルの数だけ作成されます。



昇華転写の場合、以下のように設定してください（ジョブ作成後、RasterLink8でも設定できます）。
- ミラー：オン
- ラベルサイズ：中または大(小だと文字がつぶれてしまうことがあります。)

4 レイアウトと出力設定を確認して、出力します。



- ジョブは印刷後に必ず削除してください。

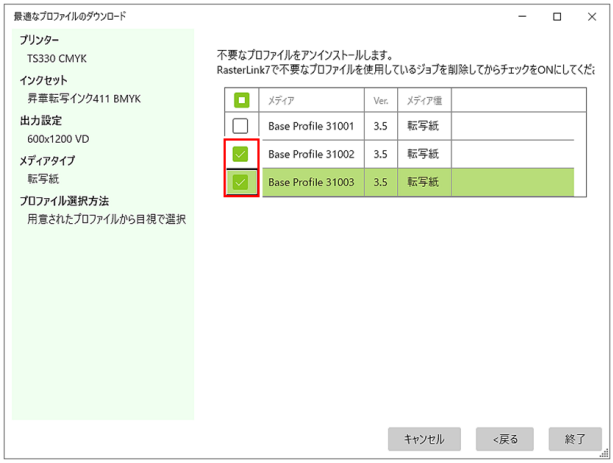
- 印刷すると[備考]欄にその画像を印刷する際に使用したデバイスプロファイルのファイル名が記載されます。

5 [次へ]をクリックします。

6 印刷された画像を確認して、不要なデバイスプロファイルを決定します。

重要！
- 昇華転写など、後処理が必要なメディアは後処理した後の結果を確認してください。

7 削除したいデバイスプロファイルのチェックボックスをオンにし、[終了]をクリックします。



- [確認画像のプリント]で作成したジョブをRasterLink8から削除してから設定してください。

☞「色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する」（P. 27）で以下を実行し、よりメディアに適した設定に変更することができます。

- 色みを調整する。
- メディア名を新たにつける。

2.4 色みを調整して専用のデバイスファイルを作成する

重 要！ 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
- 対象の機種がRasterLink8に登録されており、デバイス名と同名のホットフォルダーが登録されている。

インストール済みのデバイスプロファイルをベースとして、以下の項目をカスタマイズしたデバイスプロファイル（ユーザーデバイスプロファイル）を作成し、RasterLink8で使用できます。

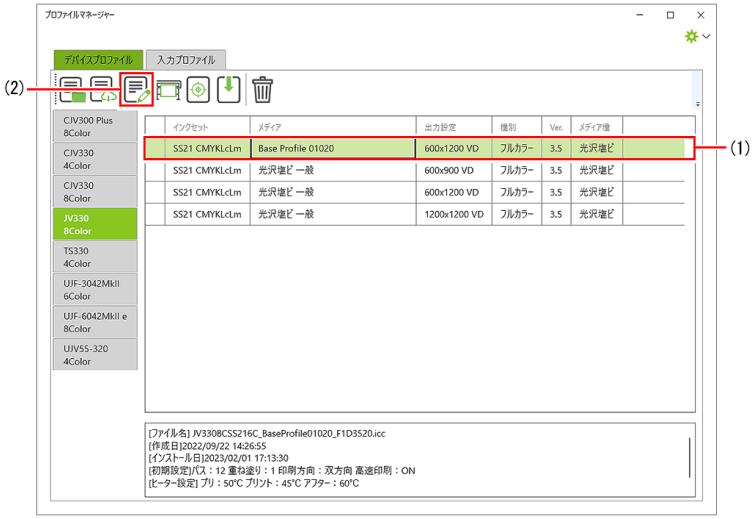
- カラーの微調整をする。
- 任意のメディア名をつける。
- ヒーター温度等、メディア特性情報を設定する。

1 以下の手順で元になるデバイスプロファイルを選択します。

(1) 元になるデバイスプロファイルを選択します。

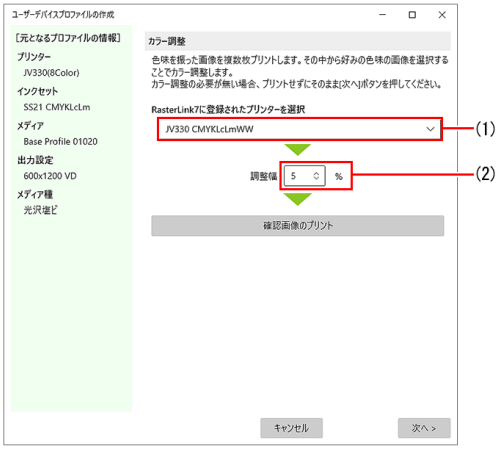
(2) (ユーザープロファイルの作成)をクリックします。

- [ユーザーデバイスプロファイルの作成]画面が表示されます。



2 カラー調整が必要な場合は、以下の項目を設定して[確認画像のプリント]をクリックします。

- カラー調整が必要でない場合は、[次へ]をクリックします。



(1) 出力先となるデバイスを選択します。

(2) 各カラーの調整幅を設定し、[確認画像のプリント]をクリックします。

(3) 画像を選択します。

- 印刷条件画面が表示されます。

(4) 印刷条件を設定し、[OK]をクリックします。

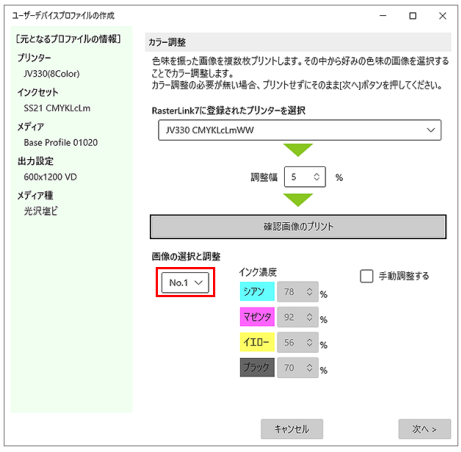
- RasterLink8にジョブが7 つ作成されます

(5) RasterLink8でレイアウトと出力設定を確認し、印刷します。

出力される画像について

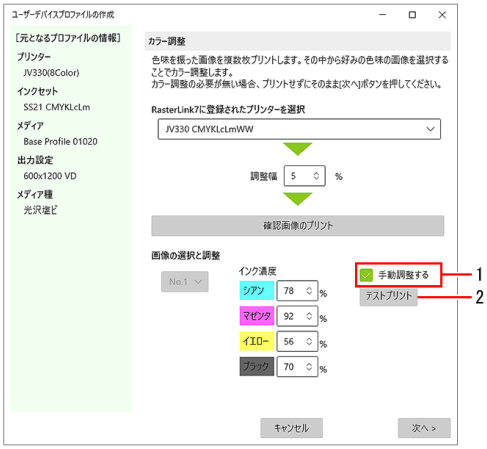
- ジョブはNo.1～No.7の7つ作成され、それぞれ指定した調整幅の値が以下のように適用されます。
  No.1：元のデバイスプロファイルのまま（調整なし）
  No.2：シアン＋調整値
  No.3：シアン－調整値
  No.4： マゼンタ＋調整値
  No.5：マゼンター調整値
  No.6：イエロー＋調整値
  No.7：イエロー－調整値
- オレンジが含まれるカラーセットの場合、調整値はマゼンタと同じになります。

3 [画像の選択と調整]で、印刷された画像の中から、よいと思う画像の番号を選択します。



4 続けて微調整したい場合は、画像番号を選択後、[手動調整する]をオン にして各カラーを調整します。

- 調整した結果は[テストプリント]で確認できます。



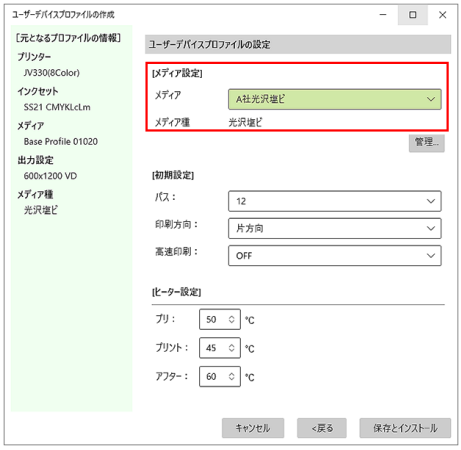
1	手動調整する	画像選択後にインク濃度を手動で調整します。
2	テストプリント	手動調整したインク濃度で印刷します。

5 [次へ]をクリックします。

- [ユーザーデバイスプロファイルの設定]画面が表示されます。

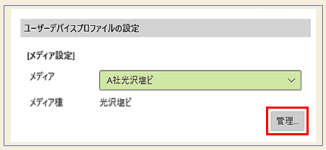
6 [メディア設定]の[メディア]からメディア名を選択します。

- 登録済みのメディアのみ選択可能です。
- メディアを新規登録する場合は、以下のヒントを参照してください。



メディアを新規登録する

(1) [管理...]をクリックします。
- [ユーザーメディアの管理]画面が表示されます。

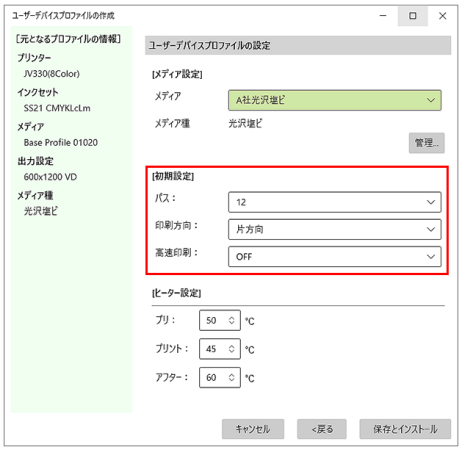


(2) [追加...]をクリックします。
- [ユーザーメディアの登録]画面が表示されます。

(3) メディア名を入力し、メディア種を選択して、[OK]をクリックします。
- メディアが追加されます。

7 [初期設定]で以下を設定します。

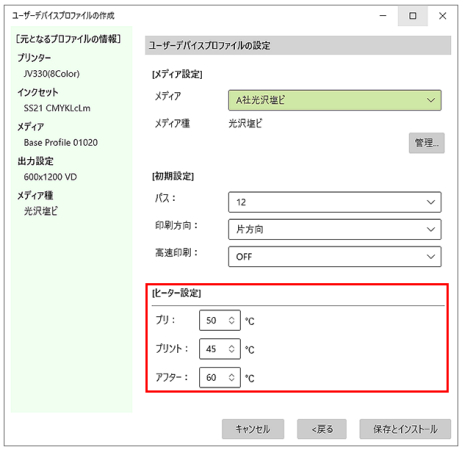
- パス
- 印刷方向
- 高速印刷



- ここで設定した値は、RasterLink8でユーザーデバイスプロファイルを選択した際の初期値となります。

8 ヒータ搭載機の場合は、[ヒーター設定]でヒーター温度を設定します。

- RasterLink8でこのユーザーデバイスプロファイルを選択した際、ヒーターの設定を[プロファイル設定値]とした場合にこの値が適用されます。



9 [保存とインストール]をクリックします。

- [ファイルの保存]画面が表示されます。

10 ファイル名をつけてユーザーデバイスプロファイルを保存します。

- ユーザーデバイスプロファイルが自動的にインストールされます。

- 拡張子は*.usrprfです。
- ユーザーデバイスプロファイルには が表示されます。

- ユーザーデバイスプロファイルはRasterLink8ではデバイスプロファイルと同じように使用できます。

2.5 プロファイルのエクスポート

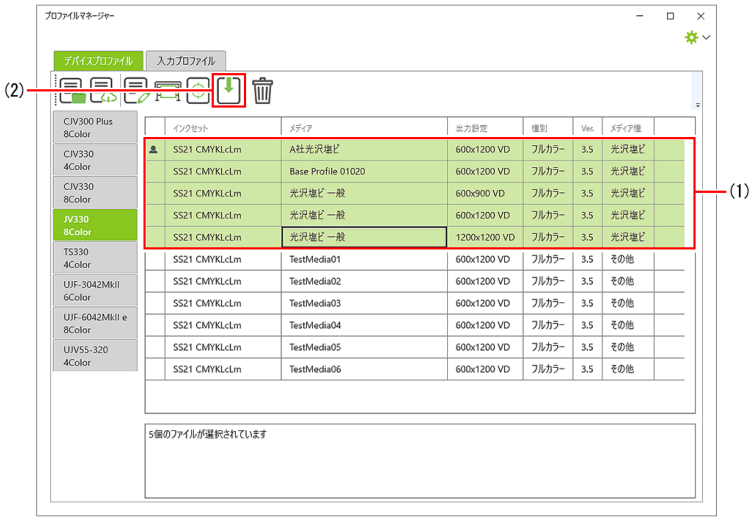
インストールしたプロファイルをZIP形式で保存することができます。
バックアップや、他のPCにファイルを移行させたい時などにお使いいただけます。

1 以下の手順で保存したいファイルを選択します。

(1) 保存したいファイルを選択します。

(2) ツールバーの(エクスポート)をクリックします。

- ファイル保存画面が表示されます。



2 ファイル名を付けて[保存]をクリックします。

- 指定された複数のプロファイルが1つのZIPファイルとして保存されます。

- 使用する際は、ZIPファイルを解凍し☞「フォルダーからのインストール」（P. 10）の方法でインストールしてください。

RasterLink8 プロファイルマネージャー リファレンスガイド

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D204030-10-05102026

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

HK

SW : 1.0.0